

ホーガン・ロヴェルズ
ライフサイエンスサミット 2017

Hogan
Lovells

ライフサイエンスの イノベーション、変化、そして挑戦

日本企業の事業機会と戦略

この度、ホーガン・ロヴェルズ法律事務所外国法共同事業では、第2回ライフサイエンス年次サミットを開催する運びとなりました。米国、欧州、日本を拠点とする弊事務所のライフサイエンス担当グローバルチームがお届けする、簡潔で実践的な戦略セミナーに是非ご参加ください。セミナーは、日本企業に影響する国内、そして世界の動向を把握し、業界の先を進み続けるのに役立つ内容となっております。

規制

- 米国と欧州におけるバイオシミラー、再生医療、細胞療法関連の規制
- 米国と欧州における規制上の排他性と優遇措置
- 米国と欧州における合剤関連の規制

コーポレート

- パイプラインの拡充：製薬企業とバイオテクノロジー／医療IT企業の共生関係とそれが買収交渉に及ぼす影響
- 価値差額を埋めるツールとしてのマイルストーンとアーンアウト

program

デジタルテクノロジー

- デジタル医療製品と関連事項
- ビッグデータ、サイバーセキュリティ、データプライバシー
- ビッグデータの収集および効果的な活用

医療／商事

- 米国における医薬品およびデジタルヘルスケアテクノロジーに係るカバレッジおよび償還
- トラUMP米国大統領が日本のライフサイエンス企業に及ぼす影響
- Brexitが日本のライフサイエンス企業に及ぼす影響

知的財産

- 第二医薬用途クレームの有効性と侵害に関する最新動向
- 欧州と日本における医薬品特許訴訟での新たな均等論
- 医薬品およびバイオテクノロジー特許関連の差止命令と強制実施権
- 欧州単一特許と統一特許裁判所：最新動向と日本のライフサイエンス企業の実践的戦略

会場 Hogan・ロヴェルズ
法律事務所外国法共同事業
〒100-0013
東京都千代田区霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル17階

参加費 無料

お問い合わせ tokyoevent@hoganlovells.com
03-5157-8200

※ 同業の方からのお申込みに関しましては
ご遠慮いただいております。
大変申し訳ございませんが
ご了承ください。

2017.12.7^{Thu}
14:00~18:00 (13:30 open)

*サミット後には懇親会を開催いたします。講演者も参加しますので、堅苦しくない雰囲気の中で議論を深めるよい機会となることと存じます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

使用言語：英語

Dr Lutz Angerer
Head of the German
Corporate Practice Group
Partner, Munich

Ms Melissa Bianchi
Digital Health Co-Chair
Partner, Washington D.C.

Dr Frederick Ch'en
Intellectual Property
Partner, Tokyo

Dr Andreas von Falck
Practice Group Leader
Intellectual Property
Partner, Düsseldorf

Mr David Fox
FDA Regulatory
Partner, Washington D.C.

Mr Adam Golden
Head of the NY Corporate
Practice Group
Partner, New York

Mr Bert Oosting
Intellectual Property
Partner, Amsterdam